

斎賀医院壁新聞

文献情報と医院案内 斎賀医院ホームページに戻る場合戻るボタンをおしてください

検索ボックス

検索

<< 2023年01月 >>

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

最近の記事

(01/11)[新型コロナの再感染にはやはり注意を！](#)
(01/07)[大動脈解離](#)
(01/06)[心筋梗塞治療後（PCI）の抗血小板療法；アスピリン対プラビックス](#)
(01/05)[アルコール性肝炎](#)
(01/04)[新年のご挨拶](#)

最近のコメント

[高齢者の尿酸降下薬・ザイロリックの初期用量](#) by (12/14)
[新型コロナの死亡率は世界で90%減少](#) by (11/27)
[新型コロナの死亡率は世界で90%減少](#) by (11/27)
[インフルエンザワクチンのQ&A](#) by (10/18)
[副腎偶発腫瘍（incidentaloma）の発生頻度](#) by (10/14)

タグクラウド

カテゴリ

[小児科](#)(229)
[循環器](#)(258)
[消化器・P P I](#)(150)
[感染症・衛生](#)(293)
[糖尿病](#)(134)
[喘息・呼吸器・アレルギー](#)(103)
[インフルエンザ](#)(110)
[肝臓・肝炎](#)(63)
[薬・抗生剤・サプリメント・栄養指導](#)(51)
[脳・神経・精神・睡眠障害](#)(51)
[整形外科・痛風・高尿酸血症](#)(36)
[ワクチン](#)(83)

[<< 小児におけるイブプロフェンとアセトアミノフェンの比較](#) | [TOP](#) | [慢性冠動脈疾患におけるコルヒチンの有効性 >>](#)

2020年11月09日

65歳以上の2回目の肺炎球菌ワクチンは？

65歳以上の2回目の肺炎球菌ワクチンは？

Does my healthy 65-year-old patient still need the 13-valent pneumococcal conjugate vaccine (PCV13)?



新型コロナの影響で、65歳以上の多くの方が肺炎球菌ワクチンの接種を希望され、23価のワクチンが品不足になっています。本院でも入荷が制限されています。ご迷惑をお掛けしていますが、この際にブログで今一度復習をしてみます。以前のブログも下記に掲載します。

タイミングよく雑誌clevelandより、短く纏めた論文が載っていましたのでそれも紹介します。

先ず復習として

- ・肺炎球菌ワクチンには2種類あります。小児用が13価ワクチン（プレベナー）です。細胞免疫を刺激するためブースター効果（繰り返す接種することにより免疫が増強）があり、その効果は長期間持続します。成人用の23価（ニューモバックス）は液性免疫を刺激しますので、ブースター効果はなくその効果も短期間です。プレベナーは細菌叢の変化が懸念されます。
- ・小児でのプレベナー接種が普及してから、13価に関連する市中肺炎は減少しています。

さて本論文を纏めてみますと

- 1) 2019年の夏にCDCとACIPの会議があり、新たなガイドラインが検討され2020年版のガイドラインが発表された。
- 2) 2014年のガイドラインでは、65歳以上は23価を接種して、1年後に13価を追加で接種することを勧めていましたが、2020年版ではとりあえず65歳以上の高齢者は全て、先ず23価を接種すること、その後13価を追加するかは患者と臨床家が相談して決定すればよい。
- 3) 結局13価を飛ばしても良いかもしれない。

[癌関係](#)(11)
[脂質異常](#)(29)
[甲状腺・内分泌](#)(20)
[婦人科](#)(12)
[泌尿器・腎臓・前立腺](#)(43)
[熱中症](#)(7)
[日記](#)(24)
[その他](#)(84)

過去ログ

[2023年01月](#)(5)
[2022年12月](#)(12)
[2022年11月](#)(16)
[2022年10月](#)(15)
[2022年09月](#)(13)
[2022年08月](#)(17)
[2022年07月](#)(13)
[2022年06月](#)(15)
[2022年05月](#)(15)
[2022年04月](#)(14)
[2022年03月](#)(15)
[2022年02月](#)(14)
[2022年01月](#)(16)
[2021年12月](#)(14)
[2021年11月](#)(17)
[2021年10月](#)(17)
[2021年09月](#)(13)
[2021年08月](#)(16)
[2021年07月](#)(12)
[2021年06月](#)(16)
[2021年05月](#)(16)
[2021年04月](#)(14)
[2021年03月](#)(18)
[2021年02月](#)(19)
[2021年01月](#)(16)
[2020年12月](#)(17)
[2020年11月](#)(15)
[2020年10月](#)(17)
[2020年09月](#)(19)
[2020年08月](#)(14)
[2020年07月](#)(17)
[2020年06月](#)(14)
[2020年05月](#)(21)
[2020年04月](#)(18)
[2020年03月](#)(18)
[2020年02月](#)(18)
[2020年01月](#)(19)
[2019年12月](#)(14)
[2019年11月](#)(15)
[2019年10月](#)(18)
[2019年09月](#)(18)
[2019年08月](#)(14)
[2019年07月](#)(14)
[2019年06月](#)(16)
[2019年05月](#)(14)
[2019年04月](#)(18)
[2019年03月](#)(19)
[2019年02月](#)(19)
[2019年01月](#)(15)
[2018年12月](#)(16)
以降はカテゴリーで検索してください。

13価を接種して5年後に23価を接種するコストと、13価をせずに追加は23価だけのコストを比較しても13価接種の意義が薄らぎます。
繰り返しになりますが、小児での13価ワクチンの接種が普及してから、社会全体で肺炎球菌による市中肺炎が減少していますが、65歳以上に13価を接種しても市中肺炎の減少に効果が認められていない事も根拠としています。（下記のPDFで説明します。）

私見）
私としましては、以前より患者さんが期待するほどニューモバックスの効果はないのではと考えています。 慌てずにもう暫くお待ちください。
それよりもインフルエンザのワクチンをお願いします。

- [1 纏め.pdf](#)
- [2 肺炎ワクチン 13価 本論文.pdf](#)
- [ブログ1.pdf](#)
- [ブログ 2 .pdf](#)
- [ブログ 3 .pdf](#)
- [ブログ 4 .pdf](#)
- [ブログ5 スケジュール.pdf](#)
- [肺炎ワクチン『定期接種化』で混乱..pdf](#)

0

0

いいね！

ツイート

ブックマーク

【ワクチンの最新記事】

[二価コロナワクチンのプスター接種後の安全..](#)

[新型コロナワクチンと帯状疱疹](#)

[新型コロナ・ワクチン接種に関して CD..](#)

[若い人での新型コロナワクチン・プスターに..](#)

[従来型ワクチンのプスター接種後の有効期間..](#)

この記事へのコメント

こんにちは。私も23価肺炎球菌ワクチンを接種していますが、五年以上の接種間隔が必要だと理解していますが、二回目を接種希望される方は、少なくとも70歳以上の方ということの理解ですね。新型コロナ禍で、二回目の希望される方が多いとは皆さん、なんというか相当にリスク回避の意識が高いんですね。

まだ、接種したばかりなので、当たり前ですが二回目の接種という意識は、全くなかったです。医療機関で、23価ワクチンが不足しているというニュースはあまり聞かなかったので、生のブログで、こういう影響(ワクチン不足)が出ていて、コロナ禍での患者さんの動向も推し量れます。

慌てずに冷静に対応したいと思います。

Posted by at 2020年11月14日 12:42

